

火災を防ぎましょう

早めに対策し

3月1日から7日まで全国一斉に「春の火災予防運動」が展開されます

三月一日(木)から七日(水)までの七日間、全国一斉に「春の火災予防運動」を実施します。この時期は空気が乾燥し、火災が発生しやすいくなります。命や財産を火災から守るために、住宅用火災警報器や消火器を設置するなどの対策をしておきましょう。また、期間中は火災予防広報や独り暮らし高齢者家庭の防火訪問のほか、さまざまなイベントを開催します。ぜひ、お出掛けください。

問い合わせは消防本部予防課 ☎220-4507へ。

消火器や警報器の設置も

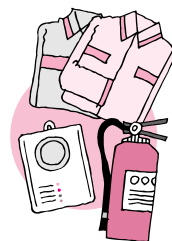
きちんと準備をしよう

「消さないで あなたの心の注意の火」を統一標語に、三月一日(木)から七日(水)まで、全国一斉に「春の火災予防運動」を実施します。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えることから、その発生を防止し、死傷者や財産の損害を防ぐことを目的に毎年実施しています。これを機会に、日ごろ忘れがちな火災に対する警戒心呼び起こし、市民・事業所・市が一体となって火災予防運動を推進しましょう。

■住宅防火

火災種別のうちで最も多く



発生しているのが建物火災。中でも住宅からの出火が半数以上を占めています。各家庭で火を扱う設備の点検や、正しい使用方法を確認してください。次の七つのポイントを中心掛け、火災を防ぎましょう。

- 3つの習慣
 - ① 寝たばこは絶対やめる
 - ② ストープは燃えやすい物のそばで使用しない
 - ③ ガスコンロなどから離れるときは必ず火を消す。
- 4つの対策
 - ① 逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する
 - ② 燃え広がりを防ぐために寝具

や衣類は防災製品を使用する

- ③ 火災を小さいうちに消すために住宅用火災警報器などを設置する
- ④ お年寄りや体の不自由な人を守るために隣近所の協力体制をつくる。

■もしも火事になったら

万が一、火事になったら次の点に注意し、慌てず落ち着いて行動しましょう。

- 早く知らせる
 - 大きな声で火事を知らせ、隣近所に援助を求めましょう。
- 早く消す
 - 出火から三分以内が消火で



消防団員も協力

高齢者を対象に火災警報器設置

独り暮らしの高齢者家庭を対象に、住宅用火災警報器を市が無料で取り付け。消防団員も取り付けに協力しています。

対象 65歳以上の独り暮らしの高齢者

○：問い合わせは介護高齢福祉課 ☎890-6134へ。

きる限度。いかに早く消火活動ができるかが重要です。

- 早く逃げる
 - 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを開け、空気を遮断しましょう。

指令室の公開や消火体験など 催しに参加して知識を

■期間中の主な行事

次のとおり訓練や防火訪問、査察などの火災予防啓発活動、消火体験、ミニ消防車試乗など、さまざまなイベントが行われます。

- ① 火災予防一斉広報
- ② 消防団の方面団別訓練
- ③ 独り暮らし高齢者家庭の防火訪問
- ④ 住宅防火訪問
- ⑤ 電車・電庫・駅舎の査察
- ⑥ 事業用バス・車庫などの査察
- ⑦ 山火事予防の啓発など。

■各消防署などで催し

● 通信指令室の特別公開
日時 3月1日(木)～7日(水)、午前10時～午後4時 会場

消防本部

- 消防ふれあい広場
日時 3月4日(日)午前9時30分～11時30分 会場 消防本部
内容 地震体験、応急手当で講習、音楽隊演奏など
- 火災防衛演習
日時 2月25日(日)午前10時15分～11時15分 会場 あゆみの里(柏倉町) 内容 火災を想定した大規模訓練
- 園児の消防車写生画展示
日時 3月1日(木)～7日(水)、午前9時～午後5時
- ② 午前10時～午後9時 会場 ①は南消防署 ②はショッピングセンターアイム(大胡町)

出火の7割が人によるものです 山林で火の扱いに注意

■山火事予防運動

山林火災は、例年春先に多く発生しています。下草も枯れている上、降雨量も少なく、空気が乾燥し、火災が発生しやすい気象条件が重なっていることや、この時期になるとレジャーなどで入山者が増えることによるものです。火災

原因の多くは「たばこ」の投げ捨てや「たき火」の不始末など人為的なものがほとんどです。

森林は地球温暖化の主要な要因である二酸化炭素を吸収し、生命に必要な酸素を供給する貴重な資源。一度焼失してしまうと台風や集中豪雨のとき

には土砂災害を引き起こすことも。また、その森林を再生するまでには長い年月が必要となります。

一人一人が次の点に注意して山火事を防ぎましょう。

- ① 枯れ草などのある火災が起こりやすい場所ではたき火をしない
- ② たき火から離れるときは完全に火を消す
- ③ 強風時や乾燥時にはたき火や火入れをしない
- ④ たばこの吸い殻は必ず消し、投げ捨てない



啓発ステッカー

⑤ 火遊びはしない。

■山林での喫煙を制限
毎年全国で山林火災が多く